

試行運行の周知・PR 方法（案）

実際の試行運行サービスの周知・PR についての方法は以下の通りである。

■運行開始まで（運行開始予定日の 1 ヶ月前から）

1. 市民全体向け（市報、ホームページなど）
 - （1）コミュニティワゴンとは何か？
 - （2）試行運行とは何か？
 - （3）市のどこを走るのか？
 - （4）どのようなダイヤで走るのか？
 - （5）運賃は？
2. ルート沿線向け（利用想定者向け）
 - （1）ルート、バス停位置、ダイヤ
ルート毎に（イラストではなく）実際の地図上にルートとバス停位置を表現したもの。
3. ルート沿線向け（沿線の商店や事業者向け）
 - （1）利用者の想定イメージ
 - （2）車内やバス停に広告は出せるのか？←試行運行中開始直後から実施するか？ある程度利用状況を把握してからにするか？
4. その他

■運行開始後

1. 市民全体向け（ホームページで随時報告）

利用状況、収入と経費の状況（＝営業係数）
2. ルート沿線向け（利用想定者向け：コミワゴンニュースなどの形で A4 表裏程度のチラシを配布）

運行予定時刻表の配布、利用者数（ルート毎、バス停毎、便毎）、乗り残し発生状況
3. ルート沿線向け（沿線の商店や事業者向け）

利用者数（ルート毎、バス停毎、便毎）、利用年齢層
4. その他